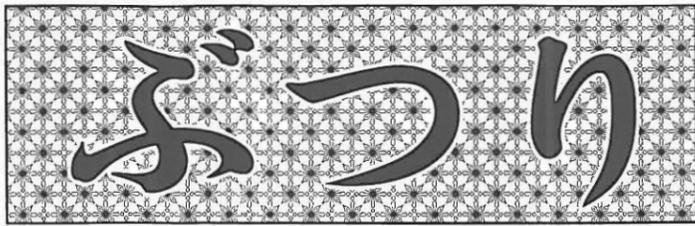


発行所 中央大学白門物理会
〒112-8551
東京都文京区春日 1-13-27
中央大学理工学部
物理学科準備室
物理学科準備室
発行人 田 將
編集人 藤 守夫
電話 03-3817-1767
FAX 03-3817-1792
e-mail hakumon@phys.chuo-u.ac.jp



ホームページ <http://www.hakumon-buturi.com/>

中央大学校歌

作詞 石川道雄
作曲 坂本良隆
編曲 三木稔

一 草のみどりに風薫る
丘に日映き白門を
慕い集える若人が
真理の道にはげみつ
栄えある歴史を承け伝
う
ああ中央 われらが中央
中央の名よ光あれ

二 よしや嵐は荒ぶとも
揺るがぬ意気せいや昂
春の驕奢の花ならで
みのりの秋やめざすら
む
学びの園こそ豊かなれ
ああ中央 われらが中央
中央の名よ光あれ

三 いざ起て友よ時は今
新しき世のあさばらけ
胸に血潮の高鳴りや
湧く歌声も晴れやかに
自由の天地そ展げゆく
ああ中央 われらが中央
中央の名よ光あれ

物理最前線

学生とともに「もの」をつくる
新しい物質の探検と創造 佐藤博彦先生の研究室を訪ねる

新しさ面白い特性が必要

佐藤博彦先生の講座名は「結晶物理学」。しかしすでにある「結晶」を研究して

「学生には自由でリラックスした環境で研究をしてみたい」との言葉。実年齢より若々しくお見えになる。リラックスとはど

んな状態かと興味をもって居室に入れば、エーツと驚いた。なんと一人の学生がソファで寝ているのではな

う。「学生は自由な時間の中でそれぞれの研究をこなす、それが良い結果につながる」ということ。

三つに分かれる研究室

佐藤先生の研究室は三ヶ所に分散して相互が機能的に連携している。決してバラバラに配置されているわけではない。「新しいものを」つくるために、作る、構造を調べる、物性を測定する、との行程を意識的に分散して新しい思考の役立てをしようと考えて良いと思う。

まずは「結晶」の分析だ。結晶は合成すると粉状になるものが多く、大きくなると宝石のようになる。X線の回析を利用して原子の並び方を見てみる。部屋のパソコンの画面には実にきれいな結晶の画像が投影されていた。結晶



佐藤先生の「宝物」。今までの学生の作品を前に

とほ原子がぎっしりときれいにならんではいる状態のことだ。この原子の配置を変えてみたら、あるいは温度を高めたら、温度を下げてみたら、あるいはなんらかの薬品を加えたらどう変化してゆ

くのだろうか。

「磁場」をかける

物のなかで、電子の動きを観察するもつともてつと早い方法は「磁場」をかけることだ。磁場をかけることによつてもいろいろ異なる状態に変化してゆく。SQUID磁束計によつてその研究がすすめられてゆく。

「超伝導」も大きなひとつのテーマ

今いろいろな分野で使われている超伝導は電気抵抗がなくなる状態であるが、いまのところ超低温にならないと実現しない。これを常温の状態で作りたいことはできないものだろうか。これもきわめて大きなテーマである。

学生の興味・関心が大切

「合成実験室」にはコバルト、マンガン、鉄などたくさんの薬品やいままでの学生の作品サンプルが並ぶ。佐藤先生はこのサンプルを大切に、さらに合成、新しいものへ挑戦してゆくという。水熱合成装置では「圧力なべ」のしくみで高温高圧の状態を作る。普通の温度では溶けないものを溶解するのだ。この装置の上方には工具がきれいにケースに並べられていたのが印象的であった。

「物理と化学」

そもそも佐藤先生は物理・化学両方の出身である。今の研究テーマである「ものを作る」ことは化学の

分野でもあろう。物質をいろいろ探してみることが大きな魅力である。「化学」で新しい「もの」の創造・変化を試みて、「物理」で他のものへの影響力をみる。両者が融合したまさに「実験物理」の極みといおうか。物質の「探検」であり、「ジャ



SQUIDと今回訪問の「ぶつり」メンバー
手前が佐藤博彦先生

楽しみな将来

毎年8月に開かれる「オーブンキャンパス・理工白門祭」では新装なった2号館7階の研究室で院生さんが「SQUID磁束計」の説明を担当していた。低温の液体ヘリウムを使いたい

わば磁性の強さを測る装置だ。ヘリウムを再凝縮する装置の規則正しい音が響く。この装置を使って「7テスラ」までの磁場をかけて物質の性質を調べることが出来る。この研究室の研究・指導内容、先生の研究方向、学生の関心、そしてさまざまな「装置」はすべてが「新しいもの」にむすびついてゆく。院生さんの説明の中には「だれも作ることがないもの」を作るといふ言葉が印象的であった。また来年のオープンキャンパスまでにどんなものが新しく発見されるかが楽しみである。

(次頁に続く)

余白

ブラック企業という言葉が何時的頃から使われています。

ブラック企業という言葉が何時的頃から使われています。もともとこの言葉は、暴力団などの反社会的団体とつながりを持つなどの違法行為を常態化させた会社を指していました。それが変化し、重労働・違法労働により正社員を使いつぶす会社を指すようになったのです。ブラック企業は、新興産業で成長が著しい企業に多いようです。正社員に私生活が崩壊するような長時間労働を強いて、成長を遂げるのです。過酷な労働環境では大量の退職者がでます。それを大量採用で補うという手法で利益と成長を追求して行くのです。まさに働き手を使い捨てて行く。これが「ブラック」といわれる由縁です。被害者には若者が多いようです。若者は、労働経験がありません。若者には、違法労働を強いられるという自覚がありません。そこにつけ込まれてしまいます。また、労働法が変わって、非正規雇用が認められていることも大きな要因です。正社員としての就職が難しいと、正社員になれるなら労働環境が多少厳しくても我慢するという選択をします。応募者の心理を巧みに利用しているのです。ブラックバイトという派生語も登場しています。ブラック企業の被害者は正社員ですが、アルバイトに対してブラックな働き方を強いる会社があります。これを指す造語です。最近、「学校もブラック企業だから」といった話を聞きます。ブラック企業やブラックバイトのように、ブラックな働き方を強制するいわばブラック職は民間企業だけではないのです。教員に対する国際調査によると、日本の中学教員は世界一多忙とのこと。多忙なのは中学校の先生だけではなくありません。小学校の先生の平均勤務時間は約十一時間。過労死ラインといわれる十二時間以上の先生も三割に上ります。昔とは大違いです。なぜそこまで多忙なのか。それは授業以外の仕事が多いから。国や県による実態調査と称するものへの回答。改革や改善のための調査や会議。それ以外にも、猫の目のようにかわる指導要領や指導指針への対応があります。これらの負担は、利益重視、効率一辺倒の社会にたいしてできる人材育成という要請に起因しています。しかし教員職のブラック化は、有能な志望者が集まらず、教育の質の低下を引き起こします。最近注目すべき学会が発足しました。その名は「人を大切にする経営学会」。最近の社会的な風潮と異なるという意味で異色な内容の学会です。この学会は、社員や取引先の人の幸せを重視する経営が好業績と持続性をもたらすことを科学的に実証する目的で結成されました。社会的良心の追求と利益の向上の両立を目指す会社や団体がこの学会に名を連ねています。新しい時代を予感させる話です。

母校理工学部最近の発展はすばらしい。研究、教育の目標によって当然その組織も新しく生れる。いま理工学部にはなんと10学科、100を超える研究室が備わる。佐藤博彦先生の「結晶物理学」はあるいは理工学部の中でも「もともと基本を大切に」、「もともとも新しいものを求めてゆく」大学らしい研究室ではなからうか。

稲見武夫先生の送別会

第二十九期 塚原 裕史

稲見武夫先生が、2014年3月、中大理工物理学の教授職をご定年されました。送別会が、11月11日(土)に、中大理工キャンパス3号館10階の会議室で行われました。稲見先生と奥様、そして物理教室の先生方13名、定年されている先生方4名、秘書の山本さん、白門物理の同窓生3名、稲見研の研究者2名、大学



ものを作るいろいろな手法・過程があるなかで「新しい物質の発見、創造をとおして学生に『創造力』を培うことを目指しているのだ。母校の新装なったこのキャンパスの中でまたひとつの「もの」が生れる。本当に楽しみで素晴らしいことではないだろうか。」

(8月29日、研究室を訪問 清水 正)

と、稲見研の学生達は、奥様の優しいお気持ちに、とてもお世話になっていました。良く手作りのケーキを作って頂き、先生が研究室へ持って来られて、研究の合間にお茶を飲みながら皆で頂き、それがどれほど美味しかったかをいつか思い出します。

稲見先生は、京都の基礎物理学研究所から中大理工へ来られて、17年間教鞭を取られました。この間、多くの学生が研究室から巣立ちました。この日、多くの稲見研OBが再集合できたのは、先生が卒業後も学生一人一人のことをいつも気に掛けていられたからに他なりません。ある年から大学では、毎年、研究室の集合写真が撮られるようになっていました。最初の頃の写真はなぜか白黒で、最近カラー写真になりました。先生は、それらの写真をすべて学生の名簿と共に、しっかりと保管されていました。それを元に、かなりの卒業生と連絡を取ることができました。

まず、石井先生がお祝いのスピーチをされて、杉本先生による乾杯により会が始まりました。稲見研OBによるスピーチは、まず稲見研で卒業後、KERKへ行き助教になられた西口さんが研究に関するしつかりとしたお話をされました。昨年、結婚されたというおめでたい報告もされました。先生は優れた指導者であると同時に愛のキューピットでもありました。稲見研に入らなかったら、付き合うことはなかつ

たであろうという荒木夫妻、猪田夫妻がお子さんと一緒に微笑ましいスピーチをしてくださいました。松井さんは、卒業後、北大へ行き、素敵な旦那様を見つけて、今回一緒に参加されましたが、見違えるような女性らしいスピーチをしてくださいました。元々米澤さんと一緒にするのは、急に風邪で声が出なくなりました。ため、並木さんは一人でスピーチをすることになりました。続いて秘書の山本さんのスピーチは印象的でした。先生は、しばしば我々を通して人伝に、様々な質問を依頼されたりします。我々は花から花へ花粉と運ぶ蜂のように質問と答えを運びながら、新しい観点や人間関係を築くことにな

ります。ご定年の記念に、卒業生からの感謝をまとめた文集を企画し、お贈りしました。その後、「文集は作らなくて良かったのではないかとボロツと言われたのですが、数日後お電話を頂き、「文集はどのように印刷したのか教えて欲しい」と聞かれました。ご自身でも追加で印刷製本されたと言われ、本当に喜んで頂けたようで、ほっとしました。

最後に、先生がスピーチをされて、中大理工物理学の学生達は、この大学にも負けない良い学生が多く、17年間、とても良い時間経過させて幸せであったと言われました。我々学生達にとっても、先生からお教え頂いた事は、当に掛け

替えのないものです。ちなみに先生は、女子学生から非常に人気があり、送別会でも、全体での集合写真以外に、15人もの女子(その内、一人は荒木家のご長女)に囲まれて集合写真を撮る場面もありました。特に、井山さん、鈴木さんへは、今回の送別会の準備への感謝もあると思われませんが、なんと先生が花束を用意されて、お贈りされていました。(あと秘書の山本さんにも)

ご定年後、現在は、台湾大学の客員教授として、さらに若い研究者との交流に尽力されています。そのお姿に、尊敬の念をさらに強く感じています。これからもご活躍をお祈り致します。



稲見先生、奥様とともに

(提供: 矢尾彰久氏)

こうらくえん⑩ 「牛天神・北野神社」

文京区春日 1-5-2

大きな道路に「牛天神」という交差点がある。その名に興味をひかれた。「下」とあるからきつとその「上」に「牛天神」なるものがあるだろうと、町並みを歩くとはたして見事な石段と石柱が目についた。

まわりはマンション街、小石川台の端に位置するたぬ見事な石段である。石柱には松平静謹による「北野神社」簡素だが趣のある構えの門には「牛天神」とある。石段は真夏でも涼しげであり、幟と提灯が神社の雰囲気を出し出す。蟬の声を聞きながら55段をあがれば境内へ。

「北野神社」の祭神は「菅原真直」であり、元暦元年

西暦1184年に建てられ、830年の歴史を持つ。源頼朝が東征のとき、夢のなかで道真が「二つの夢あらん」ことを告げた。夢からさめると目の前に牛に似た石があった。その後「二つの夢」、ひとつは頼家の誕生、そして平家を敗退、国を鎮定した。この「ねがい牛」に願いをかけ撫でると「願いが叶う」と伝えられ、今もなお信仰されている。表札によれば宮司は「春日さん」とおっしゃるようだ。

境内の中央に御神木「もっこく」が立つ。大きな木にその割に小さな葉っぱのきれいな木である。御末社として太田神社(天宇



真夏でも涼しげな境内への石段



この牛を撫でると願いが叶います

豆女命)と高木神社(宇迦御魂命)の2社が祭られている。太田神社は福の神、芸能の神、商売繁盛の神であり高木神社は五穀豊稔の神である。

脇には大きなビル「牛天神会館」がたつ。集会場か結婚式場と見えたが、なんとこれもマンション。建物

の高い位置に神社の紋章らしきものが見える。まさにマンション街に囲まれた都会のオアシスといえよう。説明文によれば頼朝が夢を見たとき「入り江の松に舟を繋いで……」とある。なんとここは海岸であったのか。一角には歌人・中島歌子の歌碑が立つ。

理工学部のキャンパスに向かう道には珍しいレンガ塀もあり筑波大の付属高校や文京三中などもある文教地区である。常泉院、西岸寺などの寺院もある静かな町でもある。ちょうどこの真下を地下鉄丸ノ内線が走っている。

(清水 正)

第15回白門物理の集い

今回は奥多摩です

第四十一期 菅原 泰晴

2014年6月7日(土)から8日(日)にかけて、第15回「白門物理の集い」が開催されました。今回は、竹山先生、高橋先生、杉本先生、脇田先生を含めた、計19名の方々が参加されました。

昨年まで「白門物理の集い」は、海沿いの閑静な場所であり、独特な造りをして中央大学葉山寮で開催されてきました。葉山寮は、食事も美味しいので個人的に非常に気に入っていたのですが、耐震基準を満たしていなかったため、残念ながら3月末で閉鎖してしまいました。そのため、今年の「白門物理の集い」は、奥多摩にある山荘「鉢の木」で開催されました。「鉢の木」は海沿いではなく山奥にありましたが、閑静である点と独特な造りをした建物である点、食事が美味しい点は葉山寮に引けを取りませんでした。

当日は、前日の大雨の影響が心配されましたが、小雨がぱらつく程度で交通機



JR奥多摩駅

う言葉は知っています。入学者の動向や教育の実情、世

界の動向など、初めて聞くことばかりで大変勉強になりました。ビジネスブレイクスルー大学の入学生の多くは働き盛りの20代〜30代で、キャリアアップを目的としている方が多いということ、社会人大学・大学院と同じような印象を持ちました。講演の中で、実際にeラーニングシステムを用いて講義の一部を見せてくださったり、受講した場合はどのように成績を評価するかといった説明もしてもらいました。どんな教育でも共通の問題である学習意欲の維持に関しては、eラーニングに関してもある

そうですが、時間的な制約が少ない点や学習進度が調整できる点などは非常に魅力を感じました。

講演が終了し、夕食の前に集合写真を取り、鶴田会長から最近の中央大学の動向のお話をいただきました。夕食では、魚料理や野菜の漬物が美味しかったです。印象に残っています。それが、それ以上に、何人もの方々が天井から下がついているオシャレな電灯に頭を何度もぶつけていたことの方が強く印象に残りました。食事中、食べ物も美味しかったのですが、個人的にみなさんが用意してくださったたくさんのお酒に目が奪われていました。これだけの量をこの人数で飲みきれたのか？そんな疑問もいただきましたが、杞憂に終わりました。よくよく思い出してみると、昨年も大量のお酒があったにもかかわらず買ひ足しにいくハブ二

今回は29期の小林博継さんがe-Learningシステムの開発に関して講演してくださいました。小林さんがお勤めになっているビジネス・ブレイクスルーの理念や事業の紹介、eラーニングや遠隔教育の利点や欠点、世界の動向に関して詳しく教えていただきました。

eラーニングという言葉は知っています。入学者の動向や教育の実情、世

界の動向など、初めて聞くことばかりで大変勉強になりました。ビジネスブレイクスルー大学の入学生の多くは働き盛りの20代〜30代で、キャリアアップを目的としている方が多いということ、社会人大学・大学院と同じような印象を持ちました。講演の中で、実際にeラーニングシステムを用いて講義の一部を見せてくださったり、受講した場合はどのように成績を評価するかといった説明もしてもらいました。どんな教育でも共通の問題である学習意欲の維持に関しては、eラーニングに関してもある



講演が終了し、夕食の前に集合写真を取り、鶴田会長から最近の中央大学の動向のお話をいただきました。

ングがあったので、これが正常な量だったのかもしれない。夕食後は恒例の『先生を囲んで一晩語り合う会』が開催されました。この宴会は確か午前2時まで続いたと記憶しています。昨年も感じたのですが、自分よりはるかに年上の方々とお話しするのはとても楽しくて、今回は、昔の物理学科の授業や先生方との思い出など、自分が知らなかった多くのことが聞けました。自分が知らなかったことといえば、杉本先生の趣味が山登りで、非常に緻密に等高線が引いてある奥多摩周辺の地図を持参するほど、上級者であることでした。杉本先生と知り合ってから10年以上になりますが、そういう趣味をもっていることは全く知りませんでした。こういった意外な一面

翌朝は、みんなで朝食をとり、午前中に「鉢の木」をあとにしました。各々奥多摩駅へ向かい、みんな電車に乗って帰りました。今回、「白門物理の集い」に参加させていただいた印象は変わっていません。

来年もぜひ参加させてくださいと思います。若い働き盛りの方々は、なかなか時間が取れないのかもしれませんが、まだ参加したことのない方は、ぜひ「白門物理の集い」に参加して、いろいろな世代の方々とお話ししてみることがオススメします。とても刺激的で楽しいと思います。

平成25年度理工学部物理学科卒業式

第四期 佐々木 文三

平成25年度物理学科及び物理学専攻の卒業式は、平成26年3月24日(13時から式典が、15時00分から5234号室で授与式が行われ、大学院修了者28名、物理学科卒業生77名に今年度物理学科連絡委員の香取先生から「学位記」が授与されました。

そのあと、香取先生からご家族へのお喜びと卒業生に次のようなお祝いの言葉がありました。

「昔読んだ、ノンフィクション作家立花隆氏の初期の本『宇宙からの帰還』(1985年版)は、立花氏がNASAで多くの宇宙飛行士にインタビューしたもので、7月への着陸に成功した飛行士達が、地上での訓練に対し緻密な計画の元、宇宙飛行のミッションをクリアしたこと。また、宇宙空間での活動はモニター化により記録され膨大な人的・生理的な変化の資料となっていること

や、宇宙へ行って帰って来た、そのことによる精神的変化、心の変化があったこと」について書かれてあります。特に、精神的な変化について系統的に質問したのは彼しかなく、この本が話題になりました。

帰還して引退した人の中にはその後、特別な宗教的体験をしたとして、絵描き(画家)や宗教家(伝道師)になった人がいました。多くの宇宙飛行士が無重力の体験などを述べたのに対し精神の世界に入ってしまった者、この違いはどこにあったのか。そこには、「トランプル」で地球との通信が途絶えたときに精神的変化が生じたことによるものと書かれていました。

皆さんは見守られた高校生活から大学に入り、面倒くさい学問を特別なミッションに選んで、そして修了しました。4月から新たなミッションが待ち受けます。18歳から22歳(子供が大人になった)大学生生活で精神的にどのように変化したか。頑張ったのに周りの評価が低かったその時が困難(トラブル)のスタートであり、そこを自分の力で乗り切った時、何を考えていたのか。宇宙飛行士が困難を克服し地球に帰還したように皆さんは大学や大学院の世界から帰還した、この間の精神的成長がどのようであったかをよく考え、新たなミッションにむかってください。また、同窓会を代表して「白門物理会」の鶴田会長から白門物理会の目的、活動等について「同期生との横のつながり」だけでなく「縦のつながり」が出来て社会的視野が広がります。また、活動の一環として毎年中大葉山寮で1泊の「白門物理の集い」を開催しています。ここでは、参加の卒業生が講師として自分の職場で研究している内容を報告、会員の励みになっているなどの説明がありました。



お祝いの言葉として (1)卒業された方は、物理の知識を学びました。しかし、社会に出るとそれだけでは不十分で「化学」や「生物」その他の科学的な知識が要求されます。物理に限定しないで機械などの工学についても吸収し考える力が大切になります。「マニュアル」に従い来たことに満足せず、「何故そうなのか」考えることで素晴らしい業績が残せると思います。

(2)私的生活習慣ですが、「歯磨き」をすることについて歯科医から「外科手術を受けたものが歯と歯茎の間の細菌が血液に入り再発したことがあるので「歯と歯茎の隙間を磨く」こと」を勧められました。「歯垢は細菌の塊」これを除去することが元気で長生きする秘訣だそうです。良い人生を送ってください。との話がされました。

第16回白門物理学会総会

第八期 斉藤 守夫

2013年11月9日、第16回白門物理学会総会が後楽園キャンパスの5号館で開催されました。総会には43名が出席し16期細井さんが司会、2期白柳さんが議長となつて進められ、滞りなく議事が進められました。総会後に行われる講演会と懇親会ですが、今回は学科開設50周年を迎えたことを記念して、同じく50周年を迎えた数学科と合同で行うことになり、数学科からは19名の出席がありました。

講演会はそれに加えて10名の高校生も聴講されました。数学科のOB会活動をお聞きすると、会報などは無くて総会も思うようにできていないようで、物理学科は良くやっていると感じました。これも会長をはじめとする皆様のご尽力によるものかと思えます。

講演はJAXA名誉教授の平林久先生による「地球外文明を考える」でした。観測技術の向上により少しずつ宇宙の様子が判るようになり、地球以外にも生命があり文明が発達している惑星があるのではないかと、その期待が膨らみます。文明が発達していると思われ惑星があれば、そこに行くことができるかどうかも知りたいところでしょう。聴講されていた高校生は、宇宙人やUFOの話を楽しんでいました。



平林先生の講演

懇親会では物理学科、数学科のOB数名がそれぞれに学生時代の思い出話や近況報告をしました。また、思い思いにグループを作ったの歓談や、講演をして頂いた平林先生から更にお話をお聞きするなど、楽しい時を過ごしました。



抜けた様子でした。

物理学科は開設50周年ですが白門物理学会も設立から15年を超えました。これからも総会をはじめとするいろいろな行事に多くの方が参加し、白門物理学会がますます盛会になることを期待しています。

私自身、卒業以来あまり母校を振り返ることもなかったのですが、今回は同期の主人に誘われ、久しぶりに母校を訪れる機会となりました。記憶に残っているキャンパスとは大きく様変わりして、高校生の皆さんの姿や新たに作られた数々の校舎を見ながら、大きく発展している母校の変化を感じることができました。これを機にまた時々訪れてみようかな、という気持ちになっています。

私たちが数学科同期の女子は、時々気が向いたときに旅行に行ったり、女子会を開いたりして今でも友達同士の交流が続いています。一昨年は有志で尾瀬にハイキング旅行、昨年は埼玉県小川町でパン屋さんをやっている同期の人を訪問したりするなど、時々連絡を取り合いながら、気軽な交流が続いています。今では、それぞれ仕事も一段落し子供の世話からも離れる年代になってきたので、これからは今まで以上に楽しもうと思っています。

「数学科・物理学科50周年記念総会」に出席して

数学科1973年卒 大塚 早苗 (旧姓:北風)

2013年11月19日(土)、数学科と物理学科の50周年記念の講演会と懇親会が催され、主人(物理学科の同期生)とともに出席しました。久しぶりに訪れた母校は大変な変わりようでした。ビックリしましたが、一号館だけは昔の姿を残している、学生時代を思い出して懐かしく感じました。総会は数学科と物理学科それぞれ別々に行われ、数学科は20名くらいの出席がありました。その後、講演会と懇親会は合同で行われました。講演会では「地球外文明を考える」と題し、平林久先生から講演が行われ、久しぶりの授業に緊張しながらも真剣に聞くことができました。懇親会は校舎内の食堂で行われ数学科と物理学科の年代を超えた同窓生の交流が行われました。懇親会では数学科同期女子の斉藤さんが出席されてい



会費の納入について (お願い)

平成26年11月 「白門物理学会」も活動の輪を確実に広げつつあります。これも、会員皆様のご協力の賜と厚くお礼申し上げます。さて、「新しく会員を希望された方」通常会員で自動振込み手続きをされていない方「会費の納入」方法についてご案内させていただきます。
(1) 白門物理学会の会費には2種類あります。
①通常会員会費 金3,000円也
但し、「白門物理学会」通常会員会費として毎年徴収させていただきます。
②終身会員会費 金30,000円也
但し、「白門物理学会」終身会員会費として1回限り徴収させていただきます。
(2) 会費納入方法は以下のとおりです。
①直接納入
「総会」「白門物理の集い」等に出席の際、会計担当が承ります。
②銀行等からの振込による納入
1) 郵便局を利用される方
記号 10040 番号 84063461
名前 白門物理学会 代表者 佐々木文三
住所 112-8551 文京区春日1-13-27 中央大学理工学部物理学科内
2) 銀行を利用される方
三菱東京UFJ銀行
店番 231 口座番号 0691988
名前 白門物理学会 代表 佐々木文三
にお振り込みをお願いします。
③MBS (明治安田システム・テクノロジー) 株式会社による口座自動振替による納入
別途、手続きが必要です。希望する方は連絡を下さい。
以上、会費納入について宜しくお願い致します。
白門物理学会副会長 (会計担当) 4期 佐々木文三

会計報告

平成25年度会計報告
期間:平成25年10月1日~平成26年9月30日
Table with columns: (予算), (決算), 取入の部, 会費, 雑収入, 繰越金, 支出の部, 総会費, 機関誌代, 通信費, 企画補助, 備品費, 消耗品費, 事務経費, 残高の部. Includes a section for 平成25年度会計監査報告 with details on audit date and findings.

編一集一後一記

今回から活字を大きくしました。新聞等の活字も大きくなっており、その理由の一つに読者の高齢化があるかと思えます。本会報も世間に合わせ、読みやすくしようとするものです。記事の量が若干減りますが、総会で苦勞して読まれている方の姿を見ますとやむを得ないことだと思っています。
最近、御嶽山の噴火や台風の襲来がありました。噴火では、その予知や警報の出し方にいろいろな意見が出ています。観測情報は知りたいところですが、あまり頻度が高くなると感性が鈍るし、警報も頻繁に出ているはそこで暮らす人々の生活に支障が出るでしょう。登山に限らず、何をやるにもリスクは必ずあるものです。相手をよく知り、起こりうる状況に自ら対応できるようにすることも大切だと思えます。
【編集委員】
編集委員長 8期 斉藤 守夫
委員 会長 嶋田 将
1期 篠田 彬 2期 白柳 勝
4期 佐々木文三 4期 杉本 秀彦
5期 宮内 良子 7期 鈴木 立夫
7期 中村 裕介 13期 飯島 章男
18期 吉川 秀雄 40期 照井雄一郎
編集顧問 清水 正(法学部卒)

平成26年度予算案

平成26年度予算案
期間:平成26年10月1日~平成27年9月30日
Table with columns: (予算), 取入の部, 会費, 雑収入, 繰越金, 支出の部, 総会費, 機関誌代, 通信費, 企画補助, 備品費, 消耗品費, 事務経費, 残高の部. Total budget is 2,492,605.